

# 文京区立図書館報

第 80 号

編集兼発行

文京区立小石川図書館

斎藤実

文京区小石川五丁目9番20号

電話(814)6745(代表)

昭和55年2月15日発行

小石川・千石分館・鷗外記念本郷・本駒込・真砂・水道端図書館

## レコード・ライブラリーの14年

太田佳男

或る昼下り……………

「エルトン・ジョンの『ライブ、ありますか?』」「シカゴやサンタナのレコードある?ニューロックなら何でもいいけど」「サイモン&ガーファンクル予約すると、いつ頃借りられます?」「ジャニス・ジョプリンの『パール』今日借りられる?」「コルトレーンのレコード何かありません?」「ぼく、バッハのカンタータを研究しているんですけど、なるべく沢山の楽譜やレコードを揃えて下さい。」「今月新譜のアルゲリッヒのチャイコフスキーいつ頃入りますか?」「メーターの春の祭典は?」「現代音楽のレコードもう少し入れて……」e t c……………

レコード・ライブラリーの毎日はこんな皆さんの声でいっぱいです。

「今、ニューロック流行っているから予約しないと借りられないのよ。」「エルトン・ジョンやキャロル・キングなんかどう?ポスト、ニューロックはシンガーソングライターですって!」「クセナキスやベルクなど現代も少し入りましたからどうぞ」

また、或る夕方……父と娘の対話

父・「言っておらん。何を借りるの?」

娘・「トルコ行進曲ありますか?」(小さな声で)

係・「ああ、モーツァルトのソナタね!」(早トチリ)

娘・「え!モーツァルトなんですか?トルコ行進曲?」

(目をまろくして、びっくりした表情)

係・「タララララタララララっていうのでしょうか?」

娘・「ちがうんです。」(悲しそうに)

父・「じゃ、どういふのか歌っておらん!お姉さんに」

娘・「タラタタタ・タラタタ・タ……………」

係・「ああ!ベートーヴェンの『アテネの廃墟』のね。」

娘・「先生も、ベートーヴェンって言ってました。」

父娘・(ホッとした表情)「借りていこうね!」

小さなピアニストのお話でした。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

以上の記事は、「レコード・ライブラリーの或る日或る時」と題して、小石川図書館がレコードの館外貸出しを始めてから2年目の昭和46年11月に発行された文京区立図書館報第46号に掲載されました。レコード・ライブラリーを



オープンしてから5年目のことですが、今、これを読み返してみると、当時の活気に満ちた利用者と担当職員の交流が、いきいきと目に浮んできます。

文京区の図書館でレコード・ライブラリーを設けて積極的な視聴覚サービスを開始してから14年過ぎました。今では図書館の数もふえ、レコードの館外貸出しも文京区だけでなく、公共図書館のサービスとしてすっかり定着しており、最初にレコード・ライブラリーを企画し創設したメンバーのひとりとして感慨深いものがあります。

昭和41年9月、小石川図書館の全面的改築を契機にレコード・ライブラリーを新設し、レコード・プレーヤー2台、オープン・テープデッキ2台、計4チャンネルの鑑賞設備、16台のヘッドフォン、約600枚のレコード、約200本のオープン・テープ、100冊の音楽図書、90冊の鑑賞用楽譜、6種類の音楽雑誌、これらを4階の専用の一室に用意して、目で読み、耳で聴くという資料の立体的利用のできる音楽資料室としてスタートしたのです。

レコードの収集が2000枚に達したら館外貸出しに踏み切ろうというのが当初からの計画でした。2,000枚という数に特別の根拠はありませんが、それぐらいのコレクションになれば、基本的な曲目はそろい貸出しに耐え得るだろうと考えたからです。昭和44年10月1日から貸出しを開始しましたが、たちまちレコード架がガラガラになる盛況で、3月までの半年間で、2,325枚の所蔵数に対して貸出枚数14,622枚630%という大きな利用率を生み出しました。ク

ラシックはバッハ、モーツアルト、ベートーヴェン。ポピュラーはモダン・ジャズ、ロックなど利用者のレコードに対する要求は幅広く、所蔵が増加するにつれて貸出しもぐんぐん伸びました。

昭和49年度にレコード・ライブラリーは転機を迎えました。この年5月から本駒込図書館が開館しましたが、小石川の利用者は目録から借りたいレコードを選んで職員に出してもらい閉架式に対して、本駒込のレコード・ライブラリーは、書架とレコード架を同一空間に並べて、利用者は直接レコードを手にとって選び、図書と同じカウンターで借りる手続きをする、いわゆるオープン方式をとりました。51年開館の真砂図書館、53年開館の水道端図書館いずれもこの方式をとっています。この二つの方式、一長一短があって、どちらが利用しやすいか軽々しく決められませんが、オープンの場合、直接手にとって選べるのはいいのですが、所蔵が増すに連れて目的のレコードを探し出すのが困難になります。従って、レコードの配列に余程の工夫が必要です。閉架式では、利用者はいちいち目録を引くというわずらわしさがありますが、レコードの所蔵数の多い場合、職員にとり出してもらったほうが、かえって早くて便利です。ただし、職員の労働量とレコードとレコード整理に関する知識と技術の修得が大変です。ですから、レコードのコレクションの小さい館はオープン方式、一万枚以上の大コレクションの館は閉架式で、音楽図書や楽譜も揃え密度の濃いレファレンス・サービスの可能な独立した音楽資料室とする。これが理想のようで、いわば、レコード・

ライブラリーの中央館としての機能が期待できます。しかし、いづれにしても利用者の方々の意見を充分聞くことが必要です。

昭和41年に約600枚のコレクションでスタートした文京区立図書館のレコード・ライブラリーも、昭和53年度には、小石川、本駒込、真砂、水道端の4館で、所蔵数貸出用レコード、カセット・テープあわせて27,100枚(本)貸出数251,400枚(本)と欧米の公共図書館に比べても遜色ないまでに成長してきました。これも利用者の方々の力強い協力と支持によるものです。レコード・ライブラリーの常連で、音楽家の道へ進んだ人、音楽雑誌の編集者になった人など、レコード・ライブラリーから自分自身の人生へ旅立って行った利用者を何人か知っています。彼等が街角でバッハやコルトレーンの音楽を耳にしたとき、ふと、青春の日に通いつめたレコード・ライブラリーを想い出す。図書館がそんな存在になったとき、真に住民のものといえましょう。

レコード・ライブラリーはますます成長しなければなりません。設備や資料がかなり充実した今、特に欧米の公共図書館のように専門的な知識や技術を持つプロフェッショナルなミュージック・ライブラリアンの養成が急務です。担当者諸氏の一層の研鑽を期待するのは勿論ですが、それを支える条件整備が充分なされねばなりません。利用者と職員がいっしょになって「喜びの歌」を声高らかに大合唱する日は、はたして何時くるのでしょうか。

## 〈知識のコーナー〉

“視聴覚資料ってなんだろう???”

図書館といえば、まず頭に浮かんで来るのが、書架に並んだ本の列。ところが、実際には、図書館はもっといろいろなものを集めている。いわば、図書館資料とは、「記録されたコミュニケーション媒体」ということになる。そのうちの視聴覚資料というのは、「主に文字以外の表現方法で記録されたメディア」とされている。具体的には、絵画、写真、地図、紙芝居、スライド、フィルムストリップ、映画フィルム、ビデオテープ、レコード、録音テープ、マイクロ写真etcと多種あるが、それらの多くは、映像とか音声を伴うために、再生する機材を必要としている。

以上は、あくまで一般論であるが、公共図書館がこれらのすべてを扱っているかという、決してそうではない。むしろ手をつけはじめていくのが現状で、乞御期待!というところか。  
(参考:図書館ハンドブック)

## 〈案内板〉

“分担収集しています”

文京区では、小石川、本駒込、真砂、水道端の4館が、レコードとカセット・テープの貸出しを行なっています。レコードについては、それぞれのジャンルをなるべく幅広く収集していますが、特にクラシック音楽は、各館で次のような特徴を持たせるよう努力しています。

小石川図書館……歌劇、声楽  
本駒込 ……バロック、ロマン派の音楽  
真砂 ……近代、現代の音楽  
水道端 ……宗教音楽、中世、ルネッサンスの音楽

“おたずねください”

「このような曲は、ありませんか」「このレコードを借りたいのですが」。これらのことに職員がお答えします。もし、その図書館にない場合は、他館から借りる方法がありますので、お申し込みください。ご希望の資料を持っている区内の図書館から借りて来てお貸しすることが出来ますので、大にご活用ください。

## ちよつと歩いて図書館まで



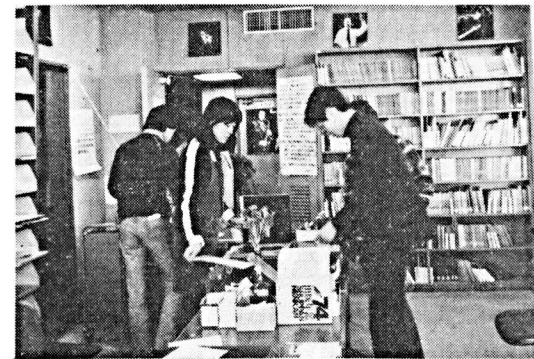
## もっと視聴覚資料のご利用を!

### 小石川図書館 小石川5-9-20 ☎(814) 6745

〈10,000枚の中からあなたの1枚を!〉

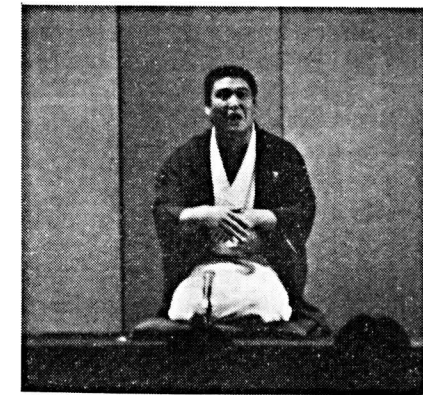
70年代は、音楽界、レコード界にとって急速な発展をみせました。ステレオ等の普及により、音楽は、子供からお年寄りまで楽しむ事ができ、生活の中に密着してきています。また同時に、多種多様の音楽の中から自分の聞きたいものを選ぶのが難しい時代になってきたともいえます。レコードをただ聞き流すのもひとつの楽しみ方かもしれませんが、さらに一歩進んでみてはいかがですか?

小石川図書館のレコードライブラリーでは、貸出しを始めて11年目を迎え、所蔵しているレコードは、クラシック、ポピュラーから児童関係、落語など10,000枚、音楽関係の図書2,000冊、スコアなどの楽譜類2,000冊、音楽雑誌20種、7チャンネルの試聴設備などをワンフロアに集め、音楽資料室として利用しやすい形になっています。ぜひこの豊富な資料をフルに活用し、音楽の神髄にふれるようなあなたの1枚をさがしてください。



### 〈気軽ににお出かけください〉

4階視聴覚ホールでは、毎月各種行事を開催しています。なかでも、今年中に140回目を迎えるという優秀映画を観る会は、日本映画の名作を集め、毎回劇作家の穂積純太郎氏による監督研究を中心とした解説があり、ますます好評です。これとは別に、昨年から日本の伝統シリーズというテーマのもとに教養映画を選び、年2回短篇映画会を開催しています。ポピュラー音楽のお好きな方はレコードコンサートにご注目下さい。ジャズ、ロック、フォーク、ニューミュージックなど、今最も人気ある音楽をとりあげ、毎回著名な評論家を招き、レコード、フィルム、スライド、ビデオなどの構成でユニークな解説をおおくりします。また年2回、クラシック音楽の生演奏をお楽しみいただいています。サロンコンサートの名のとおり、大ホールの演奏会とは違って、親子づれで気軽に出かけられるような雰囲気大切にしています。レコードでは得られない生の感動を一度味わってみませんか。最後に、図書館行事としては初の企画、小石川落語会を昨年から開催していますが、地域のお年寄りや学生に大変好評です。将来の文楽、志ん



生を目ざす若手落語家の有望株が、じっくり壺を聞かせる落語会です。テレビでは味わえない、また寄席とも違う独特なものにしていきたいと思っています。

### 〈54年度の行事(予定のものを含む)〉

| 優(監)秀映(研)画(究)を(観)る(山)会(田)洋(次) | 年月日       | 内 容          | 講 師   |
|-------------------------------|-----------|--------------|-------|
|                               | 54. 5. 17 | 男はつらいよ「望郷篇」  | 穂積純太郎 |
|                               | 〃 6. 21   | 〃 「奮闘篇」      | 〃     |
|                               | 〃 8. 16   | 故郷           | 〃     |
|                               | 〃 10. 18  | 男はつらいよ「柴又慕情」 | 〃     |
|                               | 〃 12. 20  | 〃 「夕焼け小焼け」   | 〃     |
|                               | 55. 2. 21 | 同胞           | 〃     |

| 短を篇観映画会 | 年月日       | 主 題         | 内 容           |
|---------|-----------|-------------|---------------|
|         | 54. 8. 23 | 日本の伝統シリーズ 3 | 「江戸庶民の暮らしと風物」 |
|         | 〃 11. 29  | 〃 4         | 「季節のあそび」      |

| その他催し | 年月日      | 内 容                          | 講師(出演者)        |
|-------|----------|------------------------------|----------------|
|       | 54. 6. 8 | フィルム&レコード・コンサート「ロック・その時代と変遷」 | 伊藤 政則          |
|       | 〃 7. 27  | 小石川落語会「たがや・阿武松他」             | 三遊亭栄馬          |
|       | 〃 9. 28  | サロン・コンサート「弦楽四重奏へのいざない」       | 三笑亭夢二他         |
|       | 〃 11. 16 | レコード・コンサート「日本のロックは今……」       | 東フィル・メンバー      |
|       | 55. 2. 8 | サロン・コンサート「金管楽器による室内楽はいかが」    | T・C・B・C クインテット |
|       | 〃 3.     | 小石川落語会(演目未定)                 | (未定)           |

### 〈視覚障害者の方にカセットテープを貸し出します〉

当館では、区内に在住、在学、在勤している目の不自由な方のために、カセットテープの貸出しを行なっています。

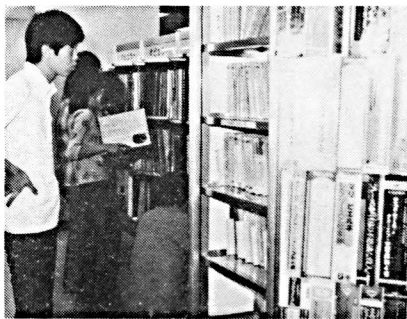
カセットは、扱い方が簡単で、初めての方でもすぐに覚えられますし、色々な学習や、趣味を広げるのにもききとお役に立つと思います。現在は、文芸ものは増えていませんが、語学、音楽、演芸等、多岐にわたって集めるよう努力しています。

貸出し本数は1回6本、貸出期間は1か月で、貸出し返却とも無料で郵送できます。目録は、墨字と点字の両方を用意しておりご希望の方にはお送りいたします。登録、申し込みはお電話でも受けつけています。また、テープレコーダーをお持ちでないかたも、こちらからお貸しできますのでぜひご利用下さい。

## 本駒込図書館

本駒込 4-35-15  
☎ (828) 4 1 1 7

### <豊富です! 語学カセット>



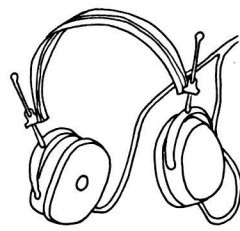
当館では、資料スペース、読書スペース、ゆったりと音楽鑑賞が楽しめるブラウジング・ルーム、253㎡ある「こどものひろば」などがあり、区内他館に

ないワンフロアであることが特徴です。

レコードは、クラシック約3,500枚、ポピュラー約3,800枚、邦楽、落語、文芸、児童用約1,000枚と8,000枚以上になり、幅広く収集しています。クラシックの中で、バッハ大全集全11巻を所蔵しているのは、当館の目玉です。

テープは、語学カセット・テープのみ収集しています。近年の海外留学熱や出張、旅行などを反映してか、貸出、予約が多くなる一方です。最近、中国語などアジアの国々の語学もよく借り出されます。20か国語126種約700本あります。80年代、新しい語学に挑戦してみたいか? 「こどものひろば」にも、レコード、カセットがあり、年令制限なしに借り出せます。児童向クラシックレコードもあり、「0才からすばらしい音楽を鑑賞しましょう」

をモットーにしていますので、どうぞご利用ください。



映画会は、毎月第2土曜日に開催しています。今年度のテーマは、洋画<監督研究>邦画<日本のノーベルバグ>です。どうぞみなさん、お誘い合せてお気軽においでください。

### <54年度の行事(予定のものを含む)>

| 年月日       | 内 容                      | 解 説 者 |
|-----------|--------------------------|-------|
| 54. 4. 14 | 「叫びとささやき」<br>イングマル・ペルイマン | 三木 官彦 |
| 〃 5. 12   | 「日本の夜と霧」 大島 渚            | 大島 渚  |
| 〃 7. 14   | 「青春残酷物語」 大島 渚            | 長部日出雄 |
| 〃 8. 11   | 「ひまわり」<br>ピットリオ・デ・シーカ    | 田山 力哉 |
| 〃 9. 8    | 「乾いた花」 篠田正浩              | 篠田 正浩 |
| 〃 10. 13  | 「無防備都市」<br>ロベルト・ロッセリニ    | 穂積純太郎 |
| 〃 11. 10  | 「欲望」 ミケランジェロ・<br>アントニオーニ | 佐藤 重臣 |
| 〃 12. 8   | 「沈黙」 篠田正浩                | 童門 冬二 |
| 55. 1. 12 | 「エロス+虐殺」 吉田喜重            | 佐藤 忠男 |
| 〃 2. 9    | 「鉄道員」ピエトロ・ジェルミ           | な し   |
| 〃 3. 8    | 「道」フェデリコ・フェリーニ           | 童門 冬二 |
| 〃 3. 22   | 「沈黙」 イングマル・<br>ペイルマン     | 三本 官彦 |

## 真砂図書館

本郷 4-8-15  
☎ (815) 6 8 0 1 ~ 2

### <やすらぎのひとときを、レコード鑑賞で>



当館では、クラシック、ポピュラー合わせて、6000枚のレコードを所蔵しています。クラシックは、ベートーヴェンから、ケージまで、ポピュラーは、民謡から、ロックまで、その他落語や効果音等、幅広く収集しています。また小学生も利用できるよう、1階には、「みんなのうた」をはじめ「昔話」や「クラシック」のレコードもそろえてあります。その他2階には、本を読むだけでなく、レコードも聴いてみたい、と言う方のために、5台のアンプと10の試聴席を用意しております。

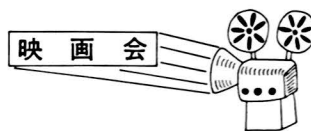
～コンサートへのおさそい～  
皆さん、評論家の話を聞きながら、ステレオを聴いてみませんか。53年度以後、ジャズを中心に、年5回のステレオ・コンサートを開催しています。毎回、解説者に、著名な、ジャズ評論家を招き、「ジャズの歴史」から、「クロスオーバーの現況」までのジャズの変遷、また楽器や演奏

家をテーマ別に取り上げたり、「ジャズとは?」と題して、参加者と、解説者とのディスカッション等々、各

回ごとに、特色ある内容で開催しており、油井正一氏をはじめ、佐藤秀樹、岩浪洋三、悠雅彦の各氏に来ていただきました。これからも工夫を凝らして、開催していきます。

### <54年度の行事>

| 年月日       | 内 容                      | 解 説  | ゲ ス ト |
|-----------|--------------------------|------|-------|
| 54. 5. 19 | ジャズとは?                   | 佐藤秀樹 |       |
| 〃 7. 21   | クロスオーバーの現況               | 岩浪洋三 |       |
| 〃 9. 18   | モードジャズの魅力をさぐる その1        | 悠 雅彦 |       |
| 〃 11. 17  | 〃 その2                    | 〃    |       |
| 55. 1. 19 | 〃 その3                    | 〃    |       |
| 54. 4. 21 | 肉弾                       | 白井佳夫 | 岡本喜八  |
| 〃 6. 16   | 影る・棟方志功の世界<br>京舞・四世井上八千代 | 〃    | 柳川武夫  |
| 〃 8. 18   | 戒厳令(洋画)                  | な し  | な し   |
| 〃 10. 20  | やさしいにっぽん人                | 白井佳夫 | 東 陽一  |
| 〃 12. 15  | 突然嵐のように                  | 〃    | 坂本典隆  |
| 55. 2. 16 | 竜馬暗殺                     | 〃    | 黒木和雄  |



## 水道端図書館

水道 2-16-14  
☎ (945) 1 6 2 1

### <もうすぐ満2才になります>



希望レコードを、棚からピックアップしカウンターに申し込み、ヘッドフォンをそっと耳に当てれば、そこから全く違う貴方だけの世界が誕生します。優雅にクラシックを聴くのもよし、ムシャクシャした気分をロックなどの強烈なサウンドで吹き飛ばすのもよし、ジャズに凝るのも、落語を楽しむのもよし、その他いろいろジャンソン、ソウル、浪曲、民族音楽等、音楽雑誌を見ながら聴くのもよいですね。さあ皆さん!手に取ってレコードを選び、ご自分の目で確かめ、耳で楽しんでください。水道端図書館に、ぶら



っとお出かけになりませんか?お急ぎの方、コンピューター貸出方式で、お待たせすることなく借り出しできますよ!ようやくレコードも4000枚を越えまし

たが、まだまだ利用者の皆様からの希望レコードがあとを断ちません。早く他館のように、充実させようと奮闘していますので、どうぞご支援ください。

4階には、各種行事を行なうホールがあります。これまでに、コンサート、映画会、子供会を行なってまいりましたが、55年度からは回数も増え、新たにスタートする予定です。

当館がオープンしてから、コンサートは、「音楽・世界の旅」、映画会は、「世界の名優たち」というテーマで、取り組んできました。落ち着いた雰囲気と、講師の魅力溢れる解説で、毎回好評をいただいております。ぜひ、このような図書館の催しにご参加ください。



### <54年度の行事(予定のものを含む)>

|       | 年月日       | 内 容                | 講 師   |
|-------|-----------|--------------------|-------|
| コンサート | 54. 6. 23 | 音楽・サファリ・アフリカ       | 江波戸 昭 |
|       | 〃 10. 27  | 音楽・インカへの旅          | 浜田 滋郎 |
|       | 〃 12. 15  | 音楽・シルクロードに<br>そって  | 江波戸 昭 |
|       | 55. 2. 23 | 音楽・日本人はどこから<br>来たか | 三橋 一夫 |
| 映画会   | 54. 6. 30 | 真昼の決闘              | 岩崎 昶  |
|       | 〃 10. 6   | 羅 生 門              | 〃     |
|       | 〃 11. 24  | 凱 旋 門              | 穂積純太郎 |
|       | 55. 1. 26 | 野生のエルザ(テーマ外)       | 古賀 忠道 |

## レコードのご案内(4館共通)

ご利用の際の参考に、次の5曲をリスト・アップしてみました。( )内の略称は所蔵館名で、小:小石川、本:本駒込、真:真砂、水:水道端です。

### ヴィヴァルディ:合奏協奏曲集「四季」

イ・ムジチ合奏団〔vn.アーヨ〕(小・本・水)、イ・ムジチ合奏団〔vn.ミケルッチ〕(小・本・水)、尾高忠明/NHK SO (本)、カラヤン/ベルリンPO (小)、ゴールドベルク/オランダ室内O (小)、シモーネ/イ・ソリスト・ヴェネティ (小)、チェッカー/ミラノ・アンジ

ェリクム室内合奏団 (小)、パイヤール/パイヤール室内O (真)、早川正昭/東京ヴィヴァルディ合奏団 (本)、ハルノンクール/ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス (小・本・水)、ファザーノ/ローマ合奏団 (小・本)、マリナー/アカデミー室内O (小)、ミュンヒンガー/シュトゥットガルト室内O (本・真・水)

### J・S・バッハ:ブランデンブルク協奏曲〔全曲〕

イ・ムジチ合奏団 (本・真・水)、ヴァルハ/スロヴァキア室内O (小)、ヴィンシャーマン/ドイツ・バッハゾリステン (小)、パイヤール/パイヤール室内O (本・真)、ハルノンクール/ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス (小)、マリナー/アカデミー室内O (真)、ミュンヒンガー



### モーツァルト:レクイエム

カラヤン/ベルリンPO (小・水)、コルボ/リスボン・グルベンキアンO (真)、ディヴィス/ロンドン SO (真)、ベーム/ウィーンPO (小・本)、ベーム/ウィーンSO (真)、マリナー/アカデミー室内O (真・水)、リヒター/ミュンヘン・バッハO (小・真)、リリング/バッハ・コレギウム・シュトゥットガルト (小・本)、ワルター/ウィーンPO (小)、ワルター/ニューヨークPO (水)

### ベートーヴェン:交響曲全集

カラヤン/ベルリンPO (小)、ケンペ/ミュンヘンPO (小)、ショルティ/シカゴSO (真)、フルトヴェングラー/ウィーンPO (水)、ベーム/ウィーンPO (小・本)、マズア/ライブツィヒ・ゲヴェンアハウスO (本)

### ワーグナー:ニーベルングの指輪〔4部作〕

カラヤン/ベルリンPO (本・〔1~3部〕水)、ショルティ/ウィーンPO (小・〔4部〕水)、フルトヴェングラー/ローマSO (本・真)、ベーム/バイロイト祝祭O (小)

## 水道端図書館界わいあれこれ

文京区教育委員会 文化財調査員 戸 畑 忠 政

昭和53年4月に文京区で6番目にオープンしたこの図書館の所在地は、水道2丁目で、館名としては水道図書館とされるのが普通である。しかし、水道図書館では、水道関係の図書館と間違えられるとの配慮もあったのであろうか、旧町名の水道端と名づけられた。

図書館の前の通りを通称水道通り（巻石通り）という。徳川家康が、天正18年（1590）江戸に入って、先ず大江戸建設の構想をたてた。それは、第一に飲料水確保の為の上水道と埋立工事であった。そして、井の頭池を水源とする日本最初の神田上水がひかれた。

関口2丁目の目白台の下の現在の大滝橋の付近で堰（大洗堰）を造り、水位を上げて小日向台の縁を通し、図書館の前の通りから後楽園のあった水戸屋敷に入れた。さらに神田・京橋方面に給水した。神田生まれの職人が、<sup>\*</sup>はばかりながら、水道の水で産湯をつかった江戸っ子だい<sup>\*</sup>とたんかをきるこの水が神田上水である。

大洗堰での余り水は、神田川（昭和41年まで船河原橋までを江戸川と呼んだ——今では文京唯一の開渠の川）に落とし、お茶の水の谷を通して隅田川に流した。

江戸川は、明治14年に篤志家の寄付で、石切橋から大曲までの約500米の間土手に桜の木が植えられた。明治から大正にかけて江戸川の桜として有名で、夜桜見物の舟まで出たという。大正末から昭和の初めにかけて、護岸工事が行われて桜の木が切られ、若木は江戸川公園に移された。

明治30年(1890)頃、島崎藤村（その頃旧湯島新花町住）の詩「おえふ」の舞台になったのはこの江戸川である。

<sup>\*</sup>水静かなる江戸川の　ながれの岸にうまいいで  
岸の桜の花かげに　われは処女となりけり……<sup>\*</sup>

江戸時代の川柳に、

<sup>\*</sup>鯉まで紫になった江戸の水  
こくしょうなどとほしがる御留川<sup>\*</sup>

とあるように、禁漁とされて、紫鯉が名高かった。

明治時代には、清流に生簀を浮べて客に供した川魚料理が評判で、今に続く橋本や石橋などのうなぎ屋がある。

神田上水は素堀であったが、明治になって石で巻き、大正の初めには鉄管となり道路の下になった。

この水道通りの台地添いには、たくさんの古寺が並び寺町通りの観を呈している。旧金富町に住んだ（大正4～7年）折口信夫（釈迢空）は……

<sup>\*</sup>この町に遊びくらし三年居き  
寺の墓　やぶ深くなりたり<sup>\*</sup>と歌っている。

図書館のすぐ前の日輪寺には真山青果（1878～1948）の墓がある。小説家・劇作家として著名。「南小泉村」で一躍文名をあげ「平将門」、「江戸城総攻」や「元禄忠臣蔵」など周到な史実考証に基づく戯曲は、二世市川左団次一座

のほか尾上菊五郎・沢田正二郎や井上正夫らによって上演され、見事に花を開いた。

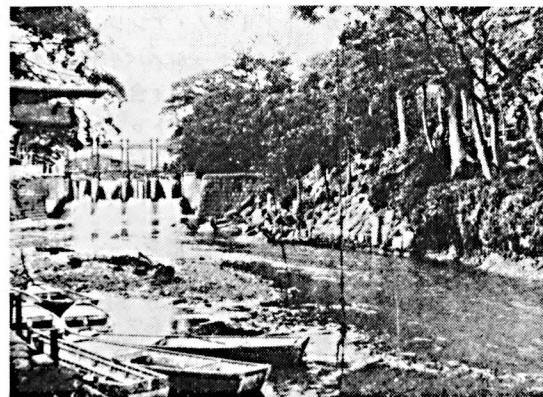
図書館の前の通りを西へ行くとすぐ近くに、小日向台に上る坂がある。坂の西側の小日向神社辺にかけてもと服部権太夫の屋敷があったので服部坂という。その屋敷跡の一部に明治11年旧黒田侯の寄付によって黒田小学校（現区立五中）が開設された。この黒田小学校に永井荷風が明治18年に入学し4年級を卒業して、旧竹早町の付属小学校の高等科へ移っていった。

荷風は明治12年12月3日、旧金富町45番地（現春日2—20—25川口アパートメントの近く）に生れた。図書館の前の水道通りを登校の為毎日往来したことであろう。昭和24年10月22日の日記に、（当時市川市住）

<sup>\*</sup>小石川の焼跡を見んとて、省線電車飯田橋駅より江戸川端を歩みて、安藤坂を登る。牛天神の岡は、樹木さえなし。坂上に三井の屋敷（現区立三中一筆者註）も草原なり。余の生れたる赤子橋際の家も焼けて、樹木もなし。金剛寺裏鶯谷も焼け、多福院の堂宇もまた見るべからず。茗荷谷も草原なり。切支丹坂上にて亀井戸行の電車に乗り……<sup>\*</sup>とあり、終戦後の風景を書いている。

神田川の下流、大曲の旧江戸川町17番地（現水道1—2あたり）に、明治6年に中村正直（敬字）によって旧内藤藩邸内に同人社が創立された。正直は、昌平坂学問所の教授方で、徳川幕府最後の海外留学生としてイギリスに留学し、帰国後、「西洋立志伝」を著わして、福沢諭吉の「西洋事情」と並んで当時のベストセラーになった。同人社は英数漢を教え、福沢諭吉の慶応義塾や旧表町（現小石川3丁目）の杉浦重剛の称好塾とともに三大私塾の一つであった。

水道通りを中心に、水道端図書館の周辺をめぐるが、歴史的に由緒が深く、学問文学にもゆかりが多い。この図書館のますますの充実と、地域の方々の利用を切望してやまない。



神田上水大洗堰（昭和8年とりこわし）